

NASEF JAPAN CHALLENGE CUP INTERNATIONAL in IBARAKI Rocket League(ロケットリーグ)部門 結果

茨城県では、eスポーツの魅力や可能性について、次世代を担う高校生に広く知っていただくとともに、eスポーツを通じて高校間の交流を促進するため、北米教育eスポーツ連盟 日本本部(NASEF JAPAN/ナセフジャパン)と連携したeスポーツ大会を昨年度より開催しております。

去る11月26日(土)に、「NASEF JAPAN CHALLENGE CUP INTERNATIONAL in IBARAKI Rocket League※部門」が開催されました。本県の水戸工業高等学校が、NASEF JAPANの推薦する全国強豪チーム、更にはオーストラリア メルボルン郊外にある、ヤラ・バレー・グラマースクール(YARRA VALLEY GRAMMAR)とeスポーツを通じた親善試合を実施し、準優勝という好成績を収めましたので、ご案内いたします。

海外の学校を交えて県内高校生がeスポーツを通して親善試合を行う大会は今回が初の取組となります。試合前にヤラ・バレー・グラマースクールの代表などから、eスポーツの教育について紹介があった後、各選抜チームの熱戦が繰り広げられましたので、是非取材をお願いいたします。

なお、水戸工業高等学校と県外、海外高校との熱戦の様子は、YouTube でアーカイブ配信しておりますので、動画の視聴も併せてお願いいたします。

記

【大会概要】

日 時	令和4年11月26日(土) 13:00~16:00
場 所	オンライン開催
参加校・結果	(参加:4チーム) 水戸工業高等学校、東京都 都内高校合同チーム※2、岐阜県 県内高校チーム※2、ヤラ・バレー・グラマースクール(オーストラリア) (結 果)  優勝 東京都 都内高校合同チーム 準優勝 茨城県 水戸工業高等学校 3位 岐阜県 県内高校チーム 4位 Australia Yarra Valley Grammar ○水戸工業高等学校生徒の意気込み ・チーム一丸となって、挑みたい。GOOD LUCK!! ○ヤラ・バレー・グラマースクール生徒の意気込み ・日本のチームと対戦できることが、とてもうれしい。頑張りたい。

※1 ジャンプやロケット飛行ができる特殊な車を操作してサッカーを行うゲーム(Epic Games(米))

※2 NASEF JAPANが実施するeスポーツ競技大会「NASEF JAPAN MAJOR」に出場経験のある強豪チーム。

(参考) 試合結果



(参考) ヤラ・バレー・グラマースクール代表 Brett Duncan 氏と、
NASEF JAPAN ベン・トーマス氏の挨拶の様子(写真は YouTube より)



○ヤラ・バレー・グラマースクール代表 Brett Duncan 氏(写真左)の発言要旨

- ・学校でeスポーツを始めた4年前は、校内での対戦のみであったが、近年は、オンラインで世界中の国と対戦できるようになり、とても喜びを感じている。

○NASEF JAPAN ベン・トーマス氏(写真右) 発言要旨

- ・自身が若い頃、好きなゲームを進めるために、英語や日本語を勉強した。
- ・その結果、大学で英語・日本語教育の資格を取得し、応用言語学の博士号の取得へとつながった。
- ・eスポーツが、将来に役立つスキルにつながることで、自身の経験からわかる。

(参考) 大会の様子(写真は YouTube より)



(左)第一試合、ラスト2秒で水戸工業高等学校がヤラ・バレー・グラマースクールに対して同点ゴールを決めたシーン (YouTube より)

(右)第1試合、延長5分57秒で水戸工業高等学校が、ヤラ・バレー・グラマースクールに対して決勝ゴールを決めたシーン (YouTube より)